

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2021年1月12日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	アメリカ カリフォルニア
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア州立大学チャンネルアイランズ校 現地言語: California state univeristy Channel Islands
留学期間	2021年8月～2021年12月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2021年12月18日
明治大学卒業予定年	2023年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:8月下旬～12月中旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: 4学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	4
創立年	2002

留学費用項目	現地通貨 (\$)	円	備考
授業料	0	0円	大学間協定留学のため負担なし
宿舍費	7040	円	1人部屋のため割高
食費	705+200	円	寮による60回分のミールプラン+日々の外食費
図書費	0	0円	
学用品費	80	円	教科書代
携帯・インターネット費	150	17,500円	海外SIM料金×5か月分
現地交通費		円	キャンパスの寮のため通学のための交通費は基本なし。外出する際は最寄りの駅までは無料のバスあり。ウーバーを利用することも多かった。 (<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	0	0円	
被服費		約20000円	
医療費	0	0円	
保険費		約100000円	形態:明治生協+現地の保険(必須)
渡航旅費		120000円	HISにて往復購入
ビザ申請費		計80000くらい(?)円	ビザ申請+SEVIS
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	およそ10000	円	

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地:成田 目的地:LAX 経由地: 復路 出発地:LAX 目的地:成田 経由地:	
渡航費用	
①往復チケットを購入した場合 航空会社:シンガポール航空 料金:約¥120000	
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:	
航空券購入方法	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:HIS) <input type="checkbox"/> その他()	
滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Anacapa) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ	
2)部屋の形態	
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 4 人)	
3)共有部分	
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)	
4)住居を探した方法:	
学校のポータルサイトより	
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
寮の形態によって個室があつたりなかったりするるので自分の性格、予算等をよく考慮しておくとうい。	
現地情報	
1)留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例:現地の病院, 学内の診療所)	
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(治療を受けた場所:学校の診療所)	
2)留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例:留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)	
<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(問題の内容や相談した人等:)	
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
学校から送られてくるメールを毎日欠かさずチェックした。また、アプリ等で現地のニュースに目を通すようにしていた。	
4)携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
基本的に学校ではどこでも WIFI がつながるので問題なし。深夜若干接続が悪い印象。	
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
クレジットカード、デビットカードを計 3 枚携帯していたのと、渡米前に現金を換金していった。	
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。	
基本的に何でも手に入るが、近くにあまりアジアスーパーなどが無い為、日本食を少しもっていったのは個人的には良かった。	
7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)	

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input checked="" type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？ レベルによっては履修できないものも多少あった。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to Global studies	グローバルスタディーズ イントロダクション
科目設置学部・研究科	GLST
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義 対面 (チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に75分が2回
担当教授	Chris Scholl
授業内容	世界の諸問題を、地学、人類学、歴史学、経済学の観点から考え、解決策を考える授業。
試験・課題など	課題:教科書のリーディング、New York Times を読んで世界のニュースを知ること。 試験:1 学期に 2 回対面。穴埋めもあるが、大半はエッセイを書く問題。
感想を自由記入	教授がとても親しみやすく、質問や授業に対する不安などを相談してもとても熱心に答えてくれた。数少ない留学生だったということもあり、授業内で日本について聞かれることも多かったが、そのおかげでクラスになじむことができた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Interpersonal communication	インターパーソナルコミュニケーション
科目設置学部・研究科	COMM
履修期間	1 学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面 座学(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 90 分が2回
担当教授	Elenie Opffer
授業内容	人間のコミュニケーションを構成する要素を学んだうえで、それぞれのコミュニケーションを円滑にする方法や手段について考え学ぶ授業。
試験・課題など	課題:毎週オンラインにて授業の振り返りのクイズが課される。 試験:1 学期に 2 回 オンライン。選択問題。学期末にはグループでプレゼンを行う
感想を自由記入	クラスメイトが熱心な生徒が多かったのが印象的だった。教授の話している間でも思ったことや自分の知識を共有していて刺激になった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Firsst Year Seminar: Pinkard LLC		ファーストイヤーセミナー (ピンカード)
科目設置学部・研究科	UNIV	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	ハイブリッド (対面+オンライン)(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に110 分が2回	
担当教授	Shante Morgan	
授業内容	アフリカーナの授業の履修条件となっていた授業。アメリカをはじめ世界各地におけるアフリカンディアスポラの実態や歴史について学ぶ授業。	
試験・課題など	事前に毎授業に関するリーディングや、ビデオの視聴を求められた。学年末には、アメリカに国内のアフリカンディアスポラについてのフィールドペーパーを書いた。	
感想を自由記入	アフリカに関する授業のため、ほかの生徒はほぼアフリカ系であった。しかし、なかなか日本の学校では耳にすることのできないような、彼らの実体験を直接聞くことができ大変有意義な教室だった。ただ、低学年向けの講義ということもあり、生徒の出席率や課題の提出率は多くはない。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Africana Studies		アフリカーナスタディーズ イントロダクション
科目設置学部・研究科	AFS	
履修期間	1 学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	オンライン 講義(チュートリアル, 講義形式等)	
授業時間数	1週間に170分が1回	
担当教授	Raquel Baker	
授業内容	アフリカという地域そのものや、アフリカ系の人々についての理解を深める授業。具体的には、アフリカ系の著者の著書を読んで各々の感じたことや考えについてそれぞれ意見交換したり、深掘りをしたりする。	
試験・課題など	毎授業ごとにその週に読んだリーディングに対してレスポンスを書くことが求められる。170 分の講義時間ではあるが、すべて講義というよりは講義半分、個々人で課題を進める時間半分というように分かれていた。	
感想を自由記入	オンラインだったため、なかなか積極的に参加しない生徒も多少見受けられた。だがその分教授に積極的に疑問を投げかけたり、質問をすると、熱心になってともに読解をしてくれる。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に活用したウェブサイト, 書籍, 機関など
3)就職を選択した方は, 差し支えなければ内定先を教えてください。また, その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前, あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は, 差し支えなければ現時点で希望する業界, 職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず, 就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い, 留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は, 留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は, 差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は, その進路を選択した理由と, 留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, ビザ申請・取得, 航空券購入, 予防接種, 滞在先の確保, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	語学試験勉強
	4月～7月	語学試験勉強
	8月～9月	語学試験勉強
	10月～12月	出願・選考
留学開始年	1月～3月	選考
	4月～7月	ビザ申請・取得、滞在先の確保、航空券購入
	8月～9月	予防接種、渡米
	10月～12月	中間試験(10月)・期末試験(12月)、帰国
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

高校 2 年生の時に、2 週間カリフォルニアに留学をした経験があったのですが、その時の経験が自分の中で納得のいくものではなく、いつかカリフォルニアにリベンジを果たそうと思い、この国際日本学部に進学していました。大学の友人たちの志高く、ほとんどが 2 年生での留学を志していましたが、コロナの影響でかなわずでした。3 年生になってもコロナの状況により、留学の許可が下りたと思えば中止の判断をされたりと、てんやわんやでしたが、帰国した今思うのは、本当に行ってよかったということです。アジアヘイトやなど不安なことはたくさんありましたが、現地ではその不安のほとんどを実感、または体感することはなかったです。留学生のコミュニティから友人が増え、日本では到底できないような体験ができました。何より、「楽しかった」というのが今回の留学の感想です。また、帰国後にゼミの友人の前で英語を話した際に、とてもびっくりされたのが印象的でした。やはり、必然的に英語を話さなくてはならない場所に身を置くことは、語学力の向上への近道だと感じました。アドバイスとしては、物事に対して興味があるのなら、その興味関心を大切にすることです。これは「留学」という行動に限った話ではなく、現地での授業を履修する際にも言えることかなあと思っています。そこからまた更に違った興味関心へとつながっていくのではないのでしょうか。